

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | リーダーの心得 私達が忘れつつあるものへの警鐘 (たばねの知恵)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

リーダーの心得 私達が忘れつつあるものへの警鐘 (たばねの知恵)

「たばね」の知恵

私達が忘れつつあるものへの警鐘

毛利元就は、一族の結束を三人の子供に託しました。「三本の矢」の教えです。一本の矢は簡単に折れますが、三本まとめ重ねると簡単には折れない。子供に結束する意味を、協力する力の偉大さを例えて説きました。

ところで、三本の矢を単純に束ねて曲げると、一本のままを曲げる時の何倍の強さが生まれるか？ 当然三倍です。

それでは、曲げに対して最も効果的に束ねると何倍の強さが生まれるか。なかなか難しい問題ですが、一本のままを曲げる時の「3.5倍」の強さが得られると言います（ここで重要なことは、最も効果的に束ねることであるが、興味のある方は後で述べる錦帯橋の構造を見ていただきたい）。

わずか三倍の材料で、約3.5倍の効果が得られる、何か魔法のようではありますが、これが「たばねの力」であり、人間の知恵です。

岩国の「錦帯橋」は木造では世界一のアーチ橋です。

このアーチの部分は実は「たばねの知恵」から出来上がっています。もともと三本ではなく、三本から六本の角材を効果的に束ねて造られています、この結果、元の角材に比べると最大では約200倍の強度になっていると言われます。錦帯橋の美しさの陰に潜む「たばねの知恵」は、我々に何かを物語っているようです。

そうです、古来「三人よれば文殊の知恵」と言われます。

連帯・団結するとは、この「たばねの知恵」を発揮することです。

そのためには、組合員同士のかかわり、組合員と組合（リーダー）のかかわり、関係がなければ「たばねの知恵」は生まれません。

「関係・絆」を築き強めるには、コミュニケーションによる人間関係の深化による信頼を図らなければなりません。

時代がどう進化しようが、人間同士の関係強化はコミュニケーション、しかも双方向のコミュニケーション以外にありません。

労働組合の活動の原点は職場です。その職場活動は実はコミュニケーションによる関係度強化から出発します。

豊かさの中で忘れつつある「人間関係やつながり、人間らしいこころの部分」を、三本の矢・錦帯橋は私達に、何か忘れてはいませんか、語りかけているようです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.